

# 宇治田原町 防災マップ

UJITAWARA TOWN

高尾・郷之口・銘城台地区

## 洪水・土砂災害ハザードマップ

～洪水・土砂災害から命を守りましょう～



【写真】平成25年 台風18号による被害  
左：崩壊により通行止めとなった国道307号 右：田原川が氾濫し、流木が流出

地震ハザードマップはこちら

被害や異常が見つかったらご連絡を

緊急時の連絡先

宇治田原町役場 ☎88-2250  
田辺警察署 ☎63-0110  
京田辺市消防署 宇治田原分署 ☎88-5500  
京都府山城北土木事務所 ☎62-0047  
京都地方気象台 ☎075-841-3008  
関西電力送配電(株) ☎0800-777-3081  
NTT西日本(電話の故障) ☎113

## 宇治田原町

## マップを利用して避難の必要性について考えてみましょう

### 早期の立ち退き避難が必要な区域及び浸水ランク別の避難行動【洪水】

早期の立ち退き避難が必要な区域	家屋が水没するおそれのある区域	その他の洪水浸水想定区域	洪水浸水想定区域外
<p>家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)</p> <p>家屋倒壊等氾濫想定区域マップはこちら</p>	<p>3.0m以上</p> <p>1.0m～3.0未満</p>	<p>0.5m～1.0未満</p> <p>0.5未満</p>	
<p>家屋が倒壊するような河岸侵食の発生するおそれがあることから、<b>早期の立ち退き避難</b>が必要です。</p>	<p>最上階も浸水するおそれがあることから、<b>早期の立ち退き避難</b>が必要です。</p>	<p>床上浸水または床下浸水が想定されることから、<b>立ち退き避難</b>が望ましいですが、浸水時に想定される状況によっては、自らの判断により屋内の安全な場所へ避難する<b>屋内安全確保(2階以上へ避難)</b>でも構いません。</p>	<p>洪水浸水想定区域内の住民の方などが避難してください。</p>
<p>氾濫がすでに開始している場合など、指定緊急避難場所へ移動することにより、かえって命に危険をおよぼしかねない場合は、<b>近隣のより安全な場所への避難</b>が必要です。さらに、外出することすら危険な場合には、屋内の安全な場所へ避難する<b>屋内安全確保(最上階へ避難)</b>が必要です。</p>	<p>最上階が浸水しない場合は、屋内の安全な場所へ避難する<b>屋内安全確保(最上階へ避難)</b>でも構いません。</p>	<p>1階が浸水するおそれがある区域の1階建ての建物などにおいては、<b>早期の立ち退き避難</b>が必要です。</p>	<p>洪水浸水想定区域内の住民の方などが避難してください。</p>
<p>注釈</p>			

### 洪水浸水想定区域の見方

このマップは、京都府の洪水浸水想定区域図に基づいて作成していますが、実際の洪水は想定のとおりには発生するとは限りません。

大雨時には浸水前の早めの避難を心がけることが不可欠ですが、周囲の状況によっては、自宅にとどまった方が安全な場合もあります。

### ご自身の判断で行動してください

このマップは、京都府の洪水浸水想定区域図に基づいて作成していますが、実際の洪水は想定のとおりには発生するとは限りません。

大雨時には浸水前の早めの避難を心がけることが不可欠ですが、周囲の状況によっては、自宅にとどまった方が安全な場合もあります。

## ハザードマップを活用しましょう

### 家族で防災に取り組もう！

災害はいつどこで起こるか予想しがたいものです。いざというときの家族の行動、避難場所や避難方法、連絡方法を日ごろから家族でよく話し合っておきましょう。

また、災害による被害を少なくするために、あらかじめ家庭内の役割を分担しておきましょう。

大災害が発生した場合、水道施設などが使用できなくなったり、道路の損壊などにより防災機関による救援活動がすぐにできない可能性があります。災害発生後の数日間は自足できるように準備をしておきましょう。

非常持ち出し品は家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐ取り出せる場所に保管しておきましょう。

### 1 事前に避難経路を皆さん自身で決めておきましょう

避難する際、あらかじめ避難する経路を決めておくと、あわてず避難することができます。

いざというときに備え、家族または地域などで避難経路を決め、マップに避難方法を書き込んでおきましょう。

### 2 避難経路を決めたら実際に歩いてみましょう

避難経路を決めたら、実際に歩いて「避難経路はどのような道なのか?」「周囲に危険なものはないか?」「避難場所までの移動時間はどのくらいか?」などを確認しましょう。

※実際に歩いたときの状況をメモしておくと、より効果的です。



### 土砂災害(特別)警戒区域とは

土砂災害警戒区域

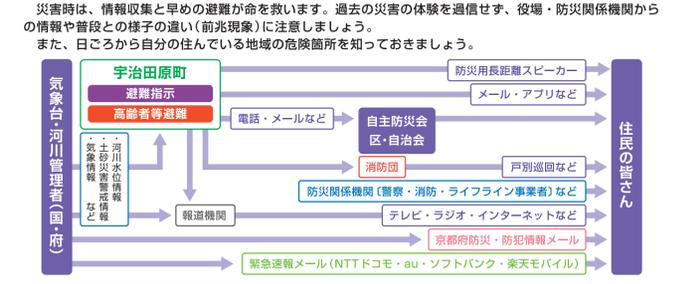
土砂災害が発生した場合に、住民などの生命・身体に危害が生じるおそれのある区域です。

土砂災害特別警戒区域

土砂災害が発生した場合に、建築物が壊れて、住民などの生命・身体に著しい危害が生じるおそれのある区域です。

## 災害時の情報に注意しましょう

### 避難情報の伝達方法



### 役場からの避難情報にご注意を

役場では、状況に応じて地域ごとに避難に関する情報を3段階に分けて発令することとしています。ただし、同じ地域でも場所によって状況は異なりますので、周囲の状況を確認し、早めに自主避難するように心がけましょう。

なお、避難情報は、防災用長距離スピーカーや緊急速報メールなどにより住民の皆さんにお知らせします。

### 警戒レベルと避難に関する情報

警戒レベル	住民に行動を促す情報(避難情報等)	状況	命の危険 直ちに安全確保!	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保(町が発令)	災害発生または切迫	すでに災害が発生している状況です。今いる場所より少しでも安全な場所へ移動するなど命を守る行動をとりましょう。	命を守る行動をとりましょう。
4	避難指示(町が発令)	災害のおそれが高い	危険な場所から全員避難。危険な場所から全員避難(立ち退き避難または屋内安全確保)しましょう。ただし、土砂災害は立ち退き避難が原則です。	危険な場所から全員避難(立ち退き避難または屋内安全確保)しましょう。
3	高齢者等避難(町が発令)	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難。避難に時間がかかる高齢者や障がいのある人などの要配慮者とその支援をする人は避難(立ち退き避難または屋内安全確保)しましょう。高齢者等以外の人も必要に応じて、出勤などの外出を控えるなど普段の行動を見直し、避難の準備をしましょう。	危険な場所から高齢者等は避難(立ち退き避難または屋内安全確保)しましょう。

### 危険を早めに知るための情報

河川水位情報

大雨警報の発表中に、大雨によって土砂災害発生の危険度が高まったときに、京都府と京都府気象台が共同で発表する防災気象情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、安全な場所へ避難してください。また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、土砂災害の前兆現象などに十分注意しながら早めの避難を心がけましょう。

土砂災害警戒情報

大雨警報の発表中に、大雨によって土砂災害発生の危険度が高まったときに、京都府と京都府気象台が共同で発表する防災気象情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、安全な場所へ避難してください。また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、土砂災害の前兆現象などに十分注意しながら早めの避難を心がけましょう。

河川水位情報は、京都府のホームページからご覧いただけます。  
https://chisubousai.pref.kyoto.jp/

土砂災害に関する情報は、京都府のホームページからご覧いただけます。  
https://d-keikai.pref.kyoto.jp/

## 情報を収集しましょう

台風や豪雨の被害は、正確な気象情報を集めることで最小限にとどめることができます。気象庁が発表する気象に関する警報や注意報などに注意して、適切な対応ができるようにしましょう。

情報を集める手段としては、テレビ・ラジオ・インターネット・役場・警察署・消防署などがありますが、町でも次のツールで防災情報(気象情報・避難情報など)を配信しています。災害の備えとしてお役立てください。

### 防災アプリ「@InfoCanal」

防災アプリ「@InfoCanal」をインストールすると、防災用長距離スピーカーで放送する緊急情報や避難情報などがスマートフォンでも受信できます。

ダウンロードは右のQRコードから

### 防災用長距離スピーカー

町内各所の屋外スピーカーで、緊急情報や避難情報などを放送します。なお、放送内容が聞き取りにくい場合は、右の専用電話番号(自動音声)にダイヤルすることで、放送内容の確認ができます(有料)。

☎ 0774-88-3100

### 緊急速報メール

町内のNTTドコモ、au、ソフトバンク、楽天モバイルの携帯電話に町からの避難情報などを一斉に配信します。

なお、メールアドレスの登録は不要です。配信対象エリア(宇治田原町内)にある受信可能な携帯電話であれば自動受信されます。

※機種によっては、受信できない場合や、事前の設定が必要となる場合があります。また、このメールの受信にかかる通信料・情報料は無料です。

※詳しくは、携帯電話会社にお問い合わせください。

ラジオの周波数

局名	周波数
NHK第1	666kHz
NHK第2	828kHz
KBS京都	1143kHz
NHK FM	82.8MHz

### 京都府防災・防犯情報メール

京都府や町から、気象情報や防災情報をメールにより携帯電話へお知らせします。

登録方法 → anzen@mail.bousai.pref.kyoto.jp

### 災害用伝言ダイヤル「171」

災害発生時は、電話がつながりにくくなります。そんなとき、「171」に電話をかけると、被災地の人々は伝言を録音したり再生したりすることができます。

録音方法: 171にダイヤルする → 被災者の電話番号・伝言内容 ※電話番号あり

再生方法: 171にダイヤルする → 被災者の電話番号 ※電話番号あり

### 家族の連絡先

いざというときにあわてないために

家族の名前	電話番号	携帯電話番号	生年月日	血液型	メモ
	自宅・職場				

## 風水害に備えましょう

気象情報などにより、台風や低気圧、前線などが接近し、強風や大雨の危険が迫ってきたときは、家の中や周囲をしっかりとチェックして、風水害に備えましょう。

屋根

- 瓦のひび・ずれはないか
- トタンのめくれ・はがれはないか

雨どい

- 雨どいに落ち葉や土砂が詰まっていないか
- 壁ぎのひびや塗料のはがれ、腐りはないか

ブロック塀

- ひび割れや破損箇所はないか

ペランダ

- 鉢植えや物干し竿など飛散の危険性が高いものは室内に入れたか

外壁など

- モルタルの壁に亀裂はないか
- 板壁に腐りや浮きはないか
- プロパンガスのボンベは固定されているか

窓ガラス・雨戸

- ひび割れ、窓枠がたつぎはないか
- 雨戸がたつぎはないか
- 強風による飛来物に備えて、外側から板でふさぐなどの処置をしたか

## 土砂災害に備えましょう

### 土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、かけ崩れ(急傾斜地の崩壊)や地すべり、土石流といった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確認することが重要です。

また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認した場合は、早めに避難しましょう。

かけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

斜面の地表に近い部分が雨水の浸透などで緩み、急に崩れ落ちる土砂災害です。崩壊が始まってから崩れ落ちるまでの時間が短く、人家の近くで発生すると逃げ遅れに犠牲になる人が多い災害です。

地すべり

斜面の一部あるいは全部が、雨水が浸透した地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する土砂災害です。移動する土砂の量が多いため、広範囲に大きな被害をもたらします。

土石流

山麓や川底の石や土砂などが、長雨や集中豪雨によって一気に下流へと押し流される土砂災害です。時速20~40kmという速度で進むため、あっという間に人家や田畑をのみ込んで破壊します。

こんな前兆現象に要注意!

- かけからの水がかかる
- かけに亀裂が入る
- 小石が落ちてくる
- かけから音が出る

こんな前兆現象に要注意!

- 地面にひび割れができる
- 井戸や沢の水がにごる
- かけや斜面から水がふき出す

こんな前兆現象に要注意!

- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- 川がにごる
- 流木が流れてくる

## 安全に避難しましょう

### 避難の心得

いざというときのために、日ごろから避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。

状況により、早めに避難しましょう!

避難情報などが発令されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。暗くなってからの避難は危険です。

外出中の家族には連絡メモを残そう!

「〇〇へ避難せよ」といったようなメモを残しておくことで良いでしょう。

みんなで助け合おう!

単独での行動は避け、隣近所に声をかけ合い、みんなで避難しましょう。

住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう!

特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身に付けて避難しましょう。

非常持ち出し品を事前に準備しましょう!

川べり、山沿いなどは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

### 立ち退き避難(水平避難)と屋内安全確保(垂直避難)

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、避難場所への移動(立ち退き避難)だけでなく、自宅の2階といった高い場所への移動(屋内安全確保)を行い、救助を待つという判断も必要です。

### 危険な避難

避難場所への早期の避難(立ち退き避難)

高所への避難(屋内安全確保)

### 地域ぐるみで防災に取り組もう!

大災害が発生したときは、交通網の寸断、同時に多発する火災などにより、消防や警察などの公共機関が十分に対応できない可能性があります。そのとき力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。「自分たちのまちを自分たちで守る」という心構えで積極的に自主防災会に参加し、災害に強いまちをつくりましょう。

また、突然の災害に見舞われたとき、大きな被害を受けやすいのは、高齢者や子ども、障がい者、傷病者、外国人などのなんらかの手助けが必要な人(要配慮者)です。こうした要配慮者を災害から守るために、地域で協力し合いながら支援していきましょう。

### 高齢者・病人

- 緊急時は、おぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。

### 目・耳の不自由な方

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方は手を触らず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩先をゆっくり歩く。

### 肢体の不自由な方(車椅子)

- 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。

### 耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

## 避難行動計画(マイ・タイムライン)を作成しましょう

家族で防災マップを確認し、避難場所・避難経路など「わが家の避難行動」について話し合います。

チェック✓し、必要項目を記入しましょう

防災マップで自宅周辺の危険性を確認

- 自宅は洪水浸水想定区域内にあるか  ある  ない
- 自宅は土砂災害(特別)警戒区域内にあるか  ある  ない
- 風水害や土砂災害に関する情報を収集し、危険を感じたら、避難情報を入力したらが家は…  自宅に待機し、状況に応じて屋内安全確保(垂直避難)  自宅以外に外出し、情報収集に努める  (避難場所、親戚、知人宅など)へ立ち退き避難(水平避難)  します。 ※移動時間は( )分

警戒レベル	気象庁などの情報	該当項目へのチェックやあなたのとるべき行動を記入しましょう
1	■ 早期注意情報	<input type="checkbox"/> 最新の天気予報をチェック <input type="checkbox"/> 非常持ち出し品(備品など)を確認
2	■ 大雨注意報 ■ 洪水注意報 ■ 氾濫注意情報	<input type="checkbox"/> 河川の情報に注意 <input type="checkbox"/> 避難する場所、避難経路を再確認
3	■ 大雨警報 ■ 洪水警報 ■ 氾濫警戒情報	<input type="checkbox"/> 避難に時間がかかる高齢者や障がい者などの要配慮者とその支援をする人は避難開始 <input type="checkbox"/> 土砂災害(特別)警戒区域内や洪水時に早期避難が必要な区域内にお住まいの方は避難開始
4	■ 氾濫危険情報 ■ 土砂災害警戒情報	<input type="checkbox"/> 危険な場所にいる方は、速やかに全員避難 <input type="checkbox"/> 避難中に危険を感じたときは、少しでも安全な場所へ(自宅や近くの頑丈な物の上など)
5	■ 大雨特別警報 ■ 氾濫発生情報	<input type="checkbox"/> 命を守るための最善の行動を! <input type="checkbox"/> 外に避難することがかえって危険な場合は、その時にいる建物内の安全な場所へ安全を確保してください!

警戒レベル4までに必ず避難!

### 防災訓練に参加しよう!

いざというときのために防災訓練に参加し、災害時の行動を確認しましょう。

### 非常持ち出し品～災害時に最初に持ち出すもの～

避難が必要になった場合に備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。リュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。

非常備品

家族が3日程度食糧を確保するための必要な分量を確保するために、ローリングストック法などにより、ストックが可能な食料及び生活必需品を準備できるように努めましょう。

ローリングストック法

日常的に非常食を食べ、食べたら新しい缶詰という行為を繰り返す。常に自宅に新しい非常食を備える方法

- 懐中電灯・予備乾電池
- 貴重品
- 救急セット
- 飲料水
- タオル
- 携帯ラジオ・予備乾電池
- 非常食
- 衣類・下着類
- ロープ
- マッチ・ライター